

福島民友

THE FUKUSHIMA MINYU

第38559号 (日刊) 2011年 (平成23年) 10月22日 (土曜日)

金箔の宮殿修復

森合 震災で被害の東光寺



三宝尊像が安置されている宮殿の修復作業に取り組む職人

福島市森合町の日蓮宗東光寺は、東日本大震災で損壊した本堂にある三宝尊像を安置した宮殿の修復、洗浄を実施している。作業は22日まで予定している。

同寺は震災で本堂の壁が崩れるなどの被害を受けた。壁近くにあった金箔で覆われた宮殿は直接の損壊は免れたものの、三宝尊像

にほこりがかぶるなどの被害を受けた。

今回の作業は1945(昭和20)年に宮殿を新調して以来、初めての作業。仏壇洗浄職人5人が特殊な洗浄剤で泡を使いながら洗浄したり、装飾部分を修復している。篠塚日洗住職は「黒ずんでいたが、よみがえった」と笑顔を見せていた。